

## A-2-5 グリーフケア

### ミックス型診療所での看取りとグリーフケア

在宅ケアは患者ケアであると同時に家族ケアでもある。家族ケアは患者を診ているときはもちろん、その死亡後も継続されることが望ましいが、システムとして行われていることは少ない。当院でも、また業務外の業務として行われてきた。しかし、外来、在宅をとともにおこなうミックス型診療所として、遺族を外来で継続診療する機会に恵まれるという長所もある。

### これまでの在宅導入患者数と転帰

	継続中	死亡*	在宅死亡 (%)	中止	入院中	計
がん	12	291	222 (76%)	10	1	314
神経難病	14	21	12	22	2	59
その他	35	84	48	68	2	189
計	61	396	282	100	5	562

\*死亡は在宅死と入院・入所後2ヶ月までの死亡

1996.5~2010.12

Demizu Clinic 2010

在宅ケアを開始してから14年あまりの間に562人の在宅ケアに関わり、在宅死亡282人を含めて396名が在宅または入院・入所後2ヶ月までに亡くなられている。

在宅での看取りを行った場合のグリーフケアの機会として診療所では次のような機会がある。

- 1.看取りの訪問時（直後）
- 2.死後処置の時（直後）
- 3.精算等の挨拶に遺族が来られた時（数日～半月程度）
- 4.お参りのための訪問（数ヶ月後）
- 5.一周忌に出すはがき（1年後）
- 6.年賀状（2年目以後毎年）
- 7.遺族の外来診療（1ヶ月後～十数年以上）

#### 1.看取りの訪問

これまで280人あまりの患者を看取ってきたが、必ず連絡があればすぐに動いている。当然時間外に動く事も少ない。年間100人を越えるような看取りをしている医師は、深夜なら訪問は翌朝になるとあらかじめ伝えている場合もあり、それで問題は無いと思う。しかし、これまで平均して月2人程度の看取りであったこともあり、深夜でもすぐに訪問をし、診断書を記載して渡している。それが、一つの敬意の払い方であり、遺族にとっては癒しに繋がるからである。患者の闘病をねぎらい、介護者の努力をねぎらい、安らぎの顔になっていることを確認し、決して苦しい死ではなかったことを説明する。

#### 2.死後処置

これまでのほとんどの在宅死亡患者については、医師の看取り訪問と同時に自院の訪問看護師が訪問し、死後処置を行っている。外来診療時間帯などは、訪問看護師が先に訪問し、電話で医師と家族が話し、了解を得て先に処置を始めているときもある。死後処置は基本的には主介護者を中心にできるだけ多くの家族・親類に参加してもらう。この時、療養期間中にあった様々な出来事を訪問看護師と介護者が話すことも大きな癒しに繋がるとともに、看護師自身の癒しでもある。

#### 3. 精算等の挨拶に遺族が来られた時

直後とは違い、気持ちの落ち着きがあり、家で看取れたことに対する肯定的評価を表出されることが多い。しかしながら、同時に急変や、疼痛、その他の苦痛、なぜ病気になったのか等の質問が出ることもある。できるだけ心的外傷に繋がらないような説明が必要である。

#### 4.お参りのための訪問

死亡後3ヶ月位をめぐり、お供えの花を持って、可能な限り多くの家を訪問してお参りをさせてもらい、遺族の安否を確認し、話し合う。医師と関わった訪問看護師などができるだけ多く参加するようにしている。多くの遺族はこの時点では笑顔が見られ、笑いながら療養期間の事や世間話ができることが多いが、まだ多くの悩みを抱えている場合も少なくない。「介護者が頑張ったからこそ在宅での看取りができた」「安らかに旅立ち、多少の苦痛や不満な点があったにせよきっと本人は介護者に感謝をしている」ということを強調する。

この訪問についての問題点は 1. 本当はグリーフケアを必要としているケースで、訪問を断られる場合がある  
2. 訪問を業務として位置づけることが困難で、当院としてはこれまでに多く約50例の看取りをおこなった  
2010年は、まだ半分以下のケースにしか訪問ができていない。という点である。

最近、地域での緩和ケア勉強会で、葬儀社の行っている遺族会について話を聴く機会があった。こうした会への案内も今後大切だろう。また、院内勉強会の講師に、葬儀社のスタッフに来てもらい、訪問看護師と共に死後処置の意味や方法について共に学んだ。

#### 5.一周忌のはがき

一周忌の直前にはがきを出している。看護師が手書きし、医師を含め訪問に関わった看護師全員が署名をして出している。このはがきに安否の返事をくれる遺族も少なくない。

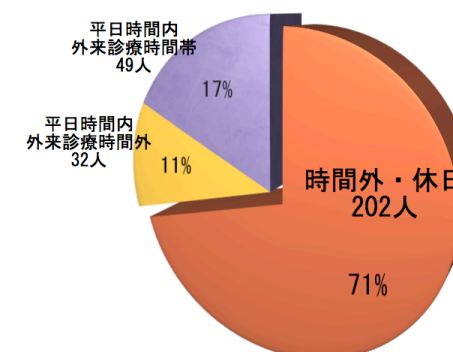
#### 6.年賀状

当院の年賀状はいつもスタッフ全員の写真を載せている。今のところ宛先不明ではがきが帰って来るようになるまで続けている。

#### 7.遺族の外来診療

ミックス型診療所の長所として、外来診療も行える点がある。近所の在宅患者の場合、その主介護者が外来にかかりつけ患者として通院する場合も少なくない。現在約70-80人の遺族がかかりつけ患者となっている。この中には「もう十三回忌ですねえ」と言うような会話をする遺族も何人か出て来ている。有り難いことである。

### 看取りの時間帯



Demizu Clinic 2010

### あけましておめでとうございます



16年目を迎えます。在宅緩和ケア・在宅神経難病ケア  
外来といつもながら課題は山積みです。  
職員一同力を合わせて頑張りますので  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



〒596-0046 岸和田市藤井町1-12-5  
TEL 072(437)5811 FAX 072(437)5836  
E-Mail clinic@demizu-c.or.jp  
Homepage http://www.demizu-c.or.jp

平成23年元旦

医療法人  
出水クリニック